

劇団東演

最後に思いつきりピアノが弾きたい
そこには決して過去にしてはいけない現実があった…

2015年 戦後70年

ピアノ・ソナタ「月光」による

朗読劇

月光の夏

原作・脚本／毛利恒之
演出／鈴木完一郎・原田一樹

朗読劇『月光の夏』は、単なる朗読とは違います。
臨場感あふれる生の舞台です。

名曲の調べとあいまって胸で聴く、心の目で観る、
深い味わいの感動のドラマをお届けします。

(作者／毛利恒之)

■日時／2015年 **8月1日[土]** 午後7時00分 (開場は30分前)

■チケット販売開始／6月6日 [土] 午前9時30分

■料金／一般…1,000円 (当日1,200円)・大学生以下…500円 (当日同料金)・ペア…1,500円 (前売のみ)
※全席自由 ※電話予約可 ※WEB予約可 (三股町立文化会館WEBサイト) ※未就学児入場不可
※大学生以下は、入場の際「学生証」の提示をお願いすることがあります
※前売にて完売の場合「当日券」は販売しないことがあります

■会場／三股町立文化会館 (〒889-1901 宮崎県北諸県郡三股町大字榊山3404-2)

■主催／三股町・三股町教育委員会

■お問い合わせ、チケット取扱／三股町立文化会館 Tel. 0986-51-3462 <http://www.town.mimata.lg.jp/bunka/>

■出演／能登 剛、奥山 浩、岸並 万里子、古田 美奈子、植田 伸子 (ピアニスト)

2015年 戦後70年

ピアノ・ソナタ「月光」による
朗読劇

月光の夏

原作・脚本／毛利 恒之
演出／鈴木 完一郎・原田 一樹

佐賀県鳥栖市 - 戦後45年のこの年、鳥栖小学校の古いグランドピアノが廃棄されようとしていた。
かつて教師をしていた吉岡公子は、そのピアノに忘れられない思い出を秘めていた。
そしてピアノを平和の願いの証として保存して欲しいという思いから、
全校集会で生徒達にその思い出を語る…

太平洋戦争末期の昭和20年初夏、音楽学校出身の特攻隊員二人が学校に駆けつけ、
今生の別れにベートーヴェンのピアノ・ソナタ「月光」を弾き、沖縄の空に出撃していった…。



能登 剛



奥山 浩



岸並 万里子



古田 美奈子



植田 伸子
(ピアニスト)

心の目で観る感動のドラマを

朗読劇『月光の夏』は、単なる朗読とは違います。
ベートーヴェンのソナタ「月光」のピアノ演奏と<ドラマリーディング>がおりなす、
新機軸のライブ・ステージです。
かつて、ラジオドラマは「心の劇場」と言われました。
朗読劇もまた、観客の想像の世界をひろげます。
のみならず、人間の息吹が伝わる、臨場感のある生の舞台です。
名曲の調べとあいまって胸で聴く、心の目で観る、深い味わいの感動のドラマをおとどけします。
戦争犠牲者の鎮魂と平和への祈りをこめて -
(作者／毛利 恒之)

朗読劇『月光の夏』は、三股では12年ぶりの再演となります。1945年の太平洋戦争終戦から、2015年で70年を迎えます。
この節目に、あらためて戦争の悲惨さ、残酷さを思い起こし、次の世代にも語り継いでいきます。大勢の方に見ていただきたい作品です。



三股町立文化会館

- 会場／三股町立文化会館
〒889-1901 宮崎県北諸県郡三股町大字樺山3404-2
- 主催／三股町・三股町教育委員会
- お問い合わせ・チケット取扱／三股町立文化会館
Tel.0986-51-3462

※電話予約可 休館日(月曜日)を除く午前9時～午後5時
※WEB予約可 <http://www.town.mimata.lg.jp/bunka/>

